

事務事業名	柳田國男調査研究事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	1	終了	
H27担当課等名	美術博物館	H27係等名	学芸係	H26係等名	学芸係							
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり									
	施策	29	ふるさと意識の醸成									
目的	対象(誰・何を)	飯田下伊那広域圏の地域住民						対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	1 柳田國男と柳田國男館の存在に気づかせ、伊那谷の民俗に対する関心を高める							圏域住民数	164580		
	向上させたい上位施策の成果指標	1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)										
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	柳田國男館の観覧者数(人)				4000	3570	4000	4000			
	成果指標	柳田國男館を使用する団体と協力して行った講演会・講座等の開催数				12	15	15	15			
定性目標												
事業概要	<p>1 美術博物館付属施設の柳田國男館において、柳田國男と、伊那谷の民俗研究の展示紹介を行う。</p> <p>2 柳田國男館を拠点とする「柳田國男記念伊那民俗学研究所」などの活動を支援し、「伊那谷地域史研究事業」として市内の民俗調査を共同で行う。</p> <p>3 柳田國男あるいは民俗学に関する講演会等を開催する。</p> <p>4 柳田國男に関する資料(図書・書簡類等)を整理する。</p>											
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標			
	<p>1 柳田國男館の展示の更新</p> <p>2 柳田國男記念伊那民俗学研究所とともに、飯田・上飯田の民俗調査を行う。</p> <p>3 柳田國男記念伊那民俗学研究所と協力して、柳田國男あるいは民俗学に関する講演会・講座等の行事を開催する。</p> <p>4 柳田國男に関する資料(図書・書簡類等)を収集・整理する。</p> <p>5 柳田國男館の整備</p>					<p>1 展示の更新箇所数</p> <p>2 民俗調査の対象箇所</p> <p>3 講座・講演会の開催数</p> <p>4 資料の整理件数</p> <p>5 柳田館の整備箇所数</p>			<p>1 3回</p> <p>2 2箇所</p> <p>3 15回</p> <p>4 2件</p> <p>5 3箇所</p>			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		521	512	464	471	[25特定財源](県)地域発元気づくり支援金(充当率75%) (そ)使用料 [26特定財源](そ)諸収入 [27特定財源](そ)諸収入						
国庫支出金												
県支出金		135										
起債												
その他		386	512	464	471							
一般財源												
人件費計(千円)②		358	/	0	/							
正規職員所要時間		100										
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		879	512	464	471							
事業内容・目標達成状況の振り返り	本館顧問福田アジオ氏による「民俗学入門講座」に、さらに若手民俗研究者を育てる「民俗学ゼミ」を加えて開催することができた。伊那民俗学研究所のHPを立ち上げ、全国に向けた発進力を高めることができた。さらに、柳田國男館の登録文化財化に向けて準備を開始した。											
改革改善の考え方	①問題点	柳田館の存在を全国に向けて発進する力がまだまだ不足している。民俗学や郷土史に興味をもつ市民の高齢化が進んでおり、若者へのアピールが必要である。										
	②改革提案	柳田國男館を国有有形文化財として登録することで、全国に向けての発信力を高める。若者など新たな人材を発掘し育てる催しを開催する。										